

「札幌大学図書館新着速報」発行



よくよまれる本

BEST20

図書館の利用実態、今回は、今年度(平成5年4月1日～平成5年10月31日)の貸出回数、上位20冊です。(閲覧カウンターから)

- ①○血族◆シドニイ・シェルダン作♠ 上♣ (933-Sh14) ♦[28]
- ②○国境の南“太陽の西”◆村上春樹著♣ (913.6-Mu43) ♦[28]
- ③○イエローキャブ：“羽田を飛び立った女たち”◆家田莊子著♣ (916-I21) ♦[27]
- ④○血族◆シドニイ・シェルダン作♠ 下♣ (933-Sh14) ♦[26]
- ⑤○ノルウェイの森◆村上春樹著♣ 上♣ (913.6-Mu43) ♦[23]
- ⑥○条解民法 1:改訂版♣ (324-J67-1) ♦[21]
- ⑦○図でわかる民法:総則、物件、債権、親族・相続◆鹿毛鶴雄著♣ 改訂第2版♣ (324-Ka18) ♦[20]
- ⑧○リウマチは治る:山内病院の冷凍運動療法の記録◆中山道治著♣ (493.6-N45) ♦[19]
- ⑨○実用英語技能検定準1級全問題集♣ (問題集コーナー) ♦[19]
- ⑩○公務員本試験問題集 一般知識♣ (問題集コーナー) ♦[19]
- ⑪○まとめて覚える英検2級レベルの英単熟語♣ (問題集コーナー) ♦[19]
- ⑫○成人病の予防と治療:中年からの健康管理◆松岡健平、北原光夫共著♣ (493.18-Ma86) ♦[18]
- ⑬○だから私は嫌われる◆ピートたけし著♣ (049-B42) ♦[18]
- ⑭○現代犯罪図鑑◆別役実、玖保キリコ著♣ (914.6-B39) ♦[18]
- ⑮○エイズ・サバイバル:日本人の意識と行動調査レポート◆宗像恒次著♣ (491.8-Mu32) ♦[18]
- ⑯○本は鞄をとびたして◆群ようこ著♣ (019-Mu67) ♦[18]
- ⑰○24人のビリー・ミリガン:ある多重人格者の記録◆ダニエル・キイス著♣ (936-Ke67) ♦[18]
- ⑱○リスト・タイムス:エイズは若者を見逃してはくれない◆ジーン・ブレイク著♣ (491.8-B53) ♦[18]
- ⑲○英検準1級30日間スピード合格♣ (問題集コーナー) ♦[18]
- ⑳○宅建合格四週間♣ (問題集コーナー) ♦[18]

◎ 書名 ◆著者名 ♠ 卷次 ♠ 請求記号 ♦ 貸出回数

芸術の森美術館で“北に生きた彫刻家たち”的作品展が開催されており、砂沢ビック氏の展示作品の中に、創刊号表紙の作品もある。(’94・4・10まで開催)
無事、第2号の編集を終え、良い新年を迎えることができた。執筆にご協力をいただいた方々に、厚くお礼申し上げる。
斬新なアイディアや、意見を寄せてください。(M)

図書館では、新しく受け入れし、整理された図書等を毎週水曜日に図書館2階の新着コーナーに展示(教員や学生からの購入希望図書については、1週間別置)しているが、これらの図書等と新規購入雑誌(発注時点での掲載)のリストを主な内容とした「札幌大学図書館新着速報」を1993.12.1から毎週発行することになった。

本学図書館の所蔵図書・雑誌等の検索ツールとして、提供しているSapiensの新着版(新年度4月から毎月末までに整理された図書等のデータを収録)が更新されるまでの間(最長で約1か月)を埋める検索ツールとしても役立てて頂きたい。
(整理係)

ちくり・コーナー

—ある日のカウンターでのひとコマ—

A教授「雑誌のバック・ナンバーが、いつ来ても抜けたままになっているのは、どうしてか?……」
（強い抗議）
カウンター職員、貸出カードを調べる—
カウンター職員「貸出中です。」
A教授「誰が借りているのか教えてくれたまえ!」
カウンター職員「利用者のプライバシーの侵害になりますので、こちらから返却するよう連絡してみます。」

—やりとりの後、A教授一応納得して帰る—
課長「日頃のB教授の主張のように、やはり雑誌は、“貸出禁止”にすべきのようですね。」
—カウンター職員、貸出カードを再度確認する—
カウンター職員「……でも…借り出しているのは、B教授ですか?。それも未製本分も含め?冊も、製本できなくて困っているのですが、……！」
課長「……!? (?)」(しばし沈黙)
図書館員一同「皆さん雑誌の貸出期限を守ってください。オネガイシマス」



「現代用語の基礎知識 1993」(R031-G34-E93)“若者用語の解説”によれば、「ちくる」とは、“言いつける”、“密告する”とあります。



札幌大学図書館報	「ホルム」	N.O.2
1994(平成6)年1月28日発行	編集発行 / 札幌大学図書館	
062 札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号	電話(011)8050211-1181(代表)	

図書館をもっと利用してほしいとの願いを込めてこの

「ホルム」の創刊だったが、読者の反応や如何?編集委員諸氏は、苦労したこともあり、自画自賛しているのだが、堀川教授のレポートのテーマは「ニーチェについて」だったとか?…その結果は、編集子としては、ここで紹介する図書に、一応目を通す。高杉良の企業小説も数冊買って読み、ブームrens文庫にして置いたのだが、その行方は?今回も坂井謙のイラスト登場、堅くなりがちな「ホルム」を樂しましてくれている。

特集「SAPIENSの使い方」を見て、蔵書検索システムが“誰にでも簡単に利用できるものだ”という

ことをわかつてもらえるか?利用増を期待したい。StudentSがお押しの「お役所の提」新聞等での評判だけ聞いていて読んでいなかつた編集委員諸氏を、「在日日本人」まで含むて読んでみた気にさせた。表紙、カットの写真とともに今は、編集委員で撮影した。汗をかきがさのその奮闘ぶりをスペースの都合で紹介できないのが残念。

在日日本人まで含むて読んでみた気にさせた。

表紙、カットの写真とともに今は、編集委員で撮影した。

汗をかきがさのその奮闘ぶりをスペースの都合で紹介

できないのが残念。

在日日本人まで含むて読んでみた気にさせた。

表紙、カットの写真とともに今は、編集委員で撮影した。

汗をかき